

教育研究業績書

2025年05月07日

所属：景観建築学科

資格：教授

氏名：杉田 茂樹

研究分野	研究内容のキーワード
都市デザイン	建築と都市の中間領域, 広場, 街路景観, TOD (公共交通志向型開発)
学位	最終学歴
工学修士 (建築学)	九州大学大学院 工学研究科建築学専攻 修士

教育上の能力に関する事項

事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例		
1. 武庫川女子大学建築学科3年 建築設計演習V 課題3：水辺の楽園 外部講師	2018年7月26日	建築設計演習V 課題3:水辺の楽園において、都市デザインの観点から学生の作品を講評し、実務経験を踏まえた具体的なデザインの在り方を指導した。
2 作成した教科書、教材		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
4 その他		
1. インターンシップの受け入れ、指導	2014年8月2016年8月	前職時、東京大学、東京工業大学、神戸大学、上海同済大学からのインターンシップを受け入れ、職業体験の指導を行った。

職務上の実績に関する事項

事項	年月日	概要
1 資格、免許		
1. 一級建築士 (第272856号)	2000年2月8日	
2 特許等		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
4 その他		

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
1 著書				
2 学位論文				
1. 小売施設の最適規模の決定手法に関する研究	単	1985年2月28日	九州大学修士 (工学)	本論では都市における小売り施設の最適規模、位置の決定手法について、消費者行動を数学的なモデルで表現し消費者の総移動距離を最小にする商業施設の規模と分布を求める具体的な解法を示した。またこのモデルを具体的な地域 (福岡市香椎地区) に適用しモデルの妥当性を示した。
3 学術論文				
1.. IN SEARCH OF AN IDEAL CITY: THE CASE OF THE OSAKA BUSINESS PARK(査読付)	共	2016年7月16日	Arch-Culturals Interactions through the Silk Road 4th International Conference, Mukogawa Women's University, Nishinomiya, Japan, July16-18, 2016, Proceedings, pp. 71-74	都市計画の歴史において様々な理想都市が構想されてきた。また一方で20世紀において、大規模な都市開発による理想的な都市空間が実現している。本論においてはこれらの理想都市の中から代表的なものを取り上げ、その構成要素を分析することで、それらが哲学的なレベルから時代の社会背景を反映する段階に移行し、現代においては資本主義の理念にもとづく効率と機能を備えることが必須となってきた変遷を明らかにすることで、人間にとっての理想の都市とは何か、時代を超えた共通のファクターが存在するのかといった問題を問いかけている。(Sugita, S., Ueda, N. : 論文全般を担当)
2. TRENDS OF URBAN	共	2012年7月	Arch-Culturals	21世紀に入って中国ベトナムなどの東アジア地域における都市開発

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
3 学術論文				
DEVELOPMENT PLANS IN HISTORIC AREA IN EAST ASIA(査読付)		14日	Interactions through the Silk Road 2nd International Conference, Mukogawa Women's University, Nishinomiya, Japan, July14-16, 2012, Proceedings, pp. 152-157	が活発化している。本論においては筆者の担当した同地域における実際のプロジェクトの中から歴史地区に存在するものを取り上げその理念や開発手法などを分析した。その結果これらに共通するテーマとして保存と開発の両立が共通していることが明らかになった。それは歴史建築を単に遺構として保存するのではなく現代都市機能を備えた生きた建築として保存、再生し活用することでその価値を伝承することの重要性が浮かび上がった。(Sugita, S., Ueda, N. : 論文全般を担当)
その他				
1. 学会ゲストスピーカー				
1. 成都TODフォーラム	単	2018年10月15日	中国 成都市	中国成都市で民間コンサルタント主催で開催されたTOD(Transit Oriented Development)に関する国際フォーラムのシンポジウム部門に参加。専門分野別に選出された5人の専門家のうち都市計画の専門家として登壇し、公共交通の利便がもたらす市民生活の将来についてコメントした。
2. 学会発表				
3. 総説				
4. 芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績				
1. 九州大学箱崎キャンパス跡地計画	共	2019年6月	福岡県福岡市東区箱崎委託業務（民間）	計画地 福岡市東区 敷地規模 40ha 計画内容 複合都市開発 九州大学キャンパス移転に伴う跡地の再開発計画。モビリティやスマートシティ、イノベーション、教育などの最新の都市計画概念を取り入れ、次世代のまちづくりのモデル都市の実現を目指している。大学キャンパス跡地にふさわしいオープンスペース主体の都市空間を提案している。 用途 商業、業務、住宅、ホテル、文化、医療、教育 (日建設計：基本計画(建築配置、ランドスケープ)を担当)
2. 成都北駅周辺地区及び地下空間都市設計コンペティション	共	2018年3月	中国成都市 国際コンペティション(公共主催)	計画地 成都市(中国)敷地規模 500ha 計画内容 複合都市開発(歩行者空間、地下街、駅接続空間、都市公園) 成都市は中国四川省の省都であり中国中西部の拠点都市である。計画地は市の中心部の北側に位置する成都北駅を中心とする既成市街地であり、駅の建替えに伴い周辺市街地を抜本的に再開発する政府の方針により国際コンペティションが開催された。提案においては駅を中心とする公共交通と歩行者ネットワークの改善、都市公園などのオープンスペースの充実、歴史的建築物の保存再生、文化、娯楽機能の充実などをテーマとしている。計画地内に位置する4つの地下鉄駅を地下商業街で繋ぎ、地上では歩道の拡幅、緑道と共に2階レベルのペDESTリアンデッキネットワークを整備し3層の歩行者ネットワークでエリア全体を歩行者優先の都市空間に変える提案を行った。地下においては日本の地下街において採用されている安全区画、サンクンガーデンによる地上、地下連続の考えを取り入れこれまでの中国の地下街にはない開放的な地下街を提案した。これらの提案により優勝を獲得し現在は実現に向けての詳細設計に取り組んでいる。 (四川省建築設計院、日建設計：計画地全体の開発ボリューム、スカイライン設定、歩行者ネットワーク、オープンスペース、都市公園の基本設計、地下街、地上連続部分の設計、提案書とりまとめを担当)
5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
1. 松下興産建築セミナーレポート	単	1996年5月	新建築	松下興産主催の建築セミナー(講演者:KPF, マリオベリーニ)に出席、その概要を建築雑誌に紹介した。

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・ 共著書別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称	概要
6. 研究費の取得状況				

学会及び社会における活動等

年月日	事項